

インターチェンジ建設現場を見学

5月28日(月)、日吉小学校3年生21人が郷土を学ぶ総合学習の一環として、養老サービスエリアスマートインターチェンジの現場見学を行い、完成前のスマートインターチェンジを実際に歩きました。

参加した児童たちは上り線側で開通後は歩くことができない車道部を歩いたほか、工事中の現場を見学し、建設機械や高速道路の構造などに興味津々の様子でした。

なお、養老サービスエリアスマートインターチェンジは、既存企業への利便性向上と企業誘致の促進、観光客の増加と地域産業振興、あわせて、災害などによる被災時には、救援活動や復興支援活動の緊急輸送道路として利活用します。



実際に現場を歩く児童たち



風船が落ちないように一生懸命風を送る参加者の皆さん

健康づくり友の会

6月4日(月)、町保健センターで、養老町健康づくり友の会総会および研修会が開催されました。

総会後の研修会では、「認知症予防に使える脳トレ体操」をテーマに、県レクリエーション協会の北島ツヤ子さんが、風船とうちわを使ったキャッチボールやじゃんけんゲームなど頭と体を使ったレクリエーションを楽しみながら学びました。

健康づくり友の会は、健康づくりの自主的活動を推進し、町民の健康づくり運動の推進に寄与することを目的とした自主活動グループです。平成20年6月発足。会長は早崎百合子さん。

水害に備えるための実践訓練

6月3日(日)、根古地地内の牧田川河川敷で、各地域の区長や水防監視長、消防団員ら約490人が参加して、水防訓練を実施しました。水防訓練は、洪水などの災害発生に備え、水防活動技術の習熟を目的に、2年に1度実施しています。

訓練では、消防団が水防工法の基本となる「土のう作り」や堤防の崩壊や漏水を防ぐ「月の輪工法」「シート張り工法」「杭打ち積土のう工法」などの工法を実践しました。

また、今年度は、各地域の区長、水防監視長を対象に洪水時の水防監視に必要な知識の習得を図ることを目的として、水防監視訓練を行いました。



いざというときに備え、訓練にいそむ消防団員